

リフレクションカード 2021年度前期

学科	保育科
氏名	東 彩子

1. 基本情報

科目名	担当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キリスト教学Ⅰ	1	前期	必修	いいえ	49

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本講義は、本学の建学の精神である「感恩奉仕」の土台となる聖書理解が目的である。授業では、旧約・新約聖書の基礎を体験的に習得できるように、毎回の講義で各々が聖書を声に出し輪読をすること、学生による紙芝居や絵本の読み聞かせ、ディスカッションなどを取り入れた。また、毎週のチャペルの参加や、ミッションデーのレポートなどを評価に取り入れ、授業外でもキリスト教に触れる体験の機会を促した。</p> <p>毎回、授業の最後に記入するポートフォリオにおいて、その回の学びの確認を行っている他、遠隔のチャペルについてもチャペルポートフォリオを作成し、積極的なチャペル参加と感想の作成を促し、自らの考えをまとめる機会を作った。</p> <p>今後は、さらに建学の精神に日常的に触れていく機会、聖書を読む機会を予習・復習などに取り入れる工夫を行いたい。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートの結果より、知識理解に関しては4.1ポイントであった。事象を理解する視点や考え方取得は4.0ポイント、到達度自己評価全体として平均3.7であった。トータルの成績の平均値は約80%以上、チャペルの出席率約90%以上と、遠隔授業であっても、チャペルポートフォリオやクラスポートフォリオなどから、「感恩奉仕」の価値観を学び、聖書の世界観を知り、キリスト教の源泉に触れるという、教育目標はやや達成されたと言える。</p> <p>キリスト教学Ⅰはキリスト教の導入なので、今後、キリスト教学Ⅱの中で、Ⅰで学んだ知識をもとに、発展させていくような展開が必要とされる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は本学の要となるキリスト教を学ぶ「必修」科目である。しかし、初めから興味を持って受講する学生はわずかであるため、キリスト教に全く興味のない学生も受講しているため、動機付けに工夫が必要であるが、総合的に全体として一定の成績を取めていることから、内容的には妥当であると考える。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 「感恩奉仕」の価値観を学び、聖書の視点を知り、キリスト教の源泉に触れるという行動目標に沿い、学問としての旧約新約聖書の講義と、実際に自ら聖書を開くなどのアクティブラーニングの他、チャペル視聴を評価に組み入れ、授業内で学ぶ事の出来ないキリスト教の源泉に触れるなど、内容的に妥当であったらう。</p> <p>自由記述の中には「自ら聖書を読んだ」「聖書の言葉の意味を調べた」「授業を受けていく中でとても興味が湧いた」「楽しく授業を受けることができた」「黒板の文字が後ろにいてもみやすかった」などの回答があり、今後も引き続き、慣れない聖書の学びへの導入として、多様な教材に触れながら多角的に教え、学生の生活につながる学びの視点を大切にしたい。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>Google Classroomにて「チャペルポートフォリオ」を導入して、チャペルと本講義とのリンクを行なった。毎回90%以上の提出があり、学生のチャペル参加の意欲など、全体像をつかむことが出来た。本講義は、キリスト教に興味のない学生にも興味をもってもらうことが重要である。授業の質評価において、わかりやすい説明を心がけており、(1)は4.3、(2)は4.5ポイント、(3)「説明は理解しやすいものであった」は4.4ポイント、授業の質評価の平均値は4.2ポイントであった。「学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」は4.1ポイントであった。また、(4)は4.0ポイントであったが、引き続き、アクティブラーニングの手法を工夫しつつ、学生たちが自ら聖書を開いて、日常生活に応用できるような仕組みを作りたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>必修科目の位置づけであり、本学の要となる「感恩奉仕」の土台を学ぶ科目であるため、学期始めにキリスト教に関心や興味のない学生たちにも主体的に学習してもらうための工夫が必要である。受け身的に知識を得るだけでなく、学生が興味を抱いたテーマについて取り上げてディスカッションを行うことや、絵本・紙芝居の読み聞かせを学生自らが実践することなどを入れ、授業を造り上げる一員としての自覚を養うように促している。</p> <p>授業の最後に記入して振り返りを行うポートフォリオに加え、チャペル出席を促す「チャペルポートフォリオ」を導入し、ほとんどが遠隔のチャペルであったが、学生のチャペルへの積極的姿勢を伺う材料とした。今後も、さらなるアクティブラーニングを検討し、キリスト教の学びを体験的に深められるような機会を提供していきたいと考えている。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	保育科
氏名	谷崎 太

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
初年次セミナー	1	前期	必修	いいえ	49

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>・主な受講動機は次の通り。①必修科目である81.3%、②資格取得に必要である18.8%、③関心のある内容である16.7%、④単位数を確保する33.3%、</p> <p>・学科における必修科目である。一般教育科目の中の初年次教育に位置づけられる。</p> <p>・シラバスに沿って、主として演習形式で進行した。</p> <p>・グループワークを多く行い、能動的な姿勢を促した。</p> <p>・授業で示された手順、解説をノート等に記録し、それを予復習に利用することで、自発的学習に対応できることを想定している。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>		<p>・前期試験を経ての成績評価は、平均88点/100点であった。再試対象者は0名であった。</p> <p>・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値5.0で最も高いスコアであった。</p> <p>(2) 知識を確認、修正したり、新たに得ることができた</p> <p>(8) コミュニケーション力や表現力を高めることができた</p> <p>・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値4.0で最も低いスコアであった。</p> <p>(1) 自分なりの目標を達成した</p> <p>(3) 事象（自然、人、社会、歴史など）を理解する視点や考え方を得ることができた</p> <p>(4) 自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた</p> <p>(5) 自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた</p> <p>(6) 自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた</p> <p>(7) 自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた</p> <p>(9) 職業倫理や行動規範（守るべきルールなど）について学ぶことができた。</p>				

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・学科のDPの知識理解（DP1）、態度（DP4）を担う科目として開講している。</li><li>・受講動機、学習到達度の自己評価の結果から判断して、開講の意義は充足しており、内容の妥当性に問題はないと考える。</li></ul>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・授業の質評価の5項目についてのスコアは3.7～4.1であり、概ね意図した授業が実施できたと考ええる。</li><li>・学習量の評価では、予復習、自発的学習が殆どなされていないことが示唆される。予復習に関する個別具体的指示を行う、および予復習、自発的学習の効果を検証する仕組みを工夫するなどの余地があると思われる。</li><li>・図書館等の利用は、過半数の学生で利用が見られ、能動的な学びに役立った。さらなる利用の促進を図りたい。</li></ul>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・当科目によるDP上の意義は概ね達成されていると考える。</li><li>・図書館の利用も含め、予復習、自発的学習を更に促す工夫をする余地があると考ええる。</li></ul>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	保育科
氏名	篠木 賢一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
運動と健康	1	前期	必修	いいえ	49

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は卒業必修科目であるとともに資格取得に必要なため、幼稚園教諭、保育士資格のいずれかを希望する学生は全員受講している。対象の学生は1年生（前期）であり、今後資格を取得するために、子供の健康を守るためにまずは自己の健康・体力について理解することは大切である。今年度は、感染症の拡大などにより新しい生活習慣や健康管理の重要性を理解してもらうために、自宅のできる運動等を取り入れた。また、学生の興味のあるダイエットや美容に関連する内容を取り入れた。オンラインでの実施だったが、実際に運動を行うことで運動強度の測定や評価をしたりして理解が深まるように工夫した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均は92.2点（S - 41人、A - 6人）である。ほとんどの学生がSまたはAを取得していることから、目標は達成できたと考えている。授業評価アンケートの「授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習」では、「休日にも運動した」「運動を行ったり、栄養バランスを考えるようになった」「健康に気をつけるようになった」という意見が見られ、健康への意識が高まったと思われる。健康や運動の必要性を、通年で行われているスポーツ実技でも引き続き指導し、意識を高めていきたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は卒業必修科目である。また、幼稚園教諭免許（選択必修）、保育士資格（選択必修）の科目である。受講生は資格取得を考えているため、受講の意欲は高い。成績評価をみてもほとんどの学生において現段階での課題は達成されており、内容的に妥当であったと考えられる。授業評価アンケートでは、「知識を確認、修正したり、新たな知識を得ることができた」平均値4.6点、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことができた」平均値4.1点となっており、多くの学生が知識を得たり意欲が向上していると考えている。また、分かりやすい説明で学ぶことが多かったという意見も見られた。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」  
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

教師からの一方的な講義にならないように、チャット等を利用して学生が発言できるような内容で講義を行った。オンラインという環境ではあったが、学生の理解が深まるように座学だけではなく、実際に運動をしながら測定・評価を行えるようにした。発言をする学生に偏りがみられたため、すべての学生が発言しやすい環境づくりを引き続き検討していく。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の授業への取り組みや評価結果を見ると、授業の目的は達成されたと考えられる。今年度はオンラインということもあり、室内でできる運動等を取り入れたり、新しい生活スタイルを考えるいい機会になった。引き続きスポーツ実技等の科目で指導を行い、今後の生活習慣としてつなげていけるようにしたい。また、授業だけではなく普段の生活や卒業後も学生が得た知識を生かすことができるような授業展開を心掛けていきたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	保育科
氏名	倉富 史枝

1. 基本情報

科目名	担当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
共生社会とジェンダー	2	前期	選択	いいえ	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>ジェンダーに関しては、身近な問題でありながら意識されていない場合が多いことから、アクティブラーニングを実施するにあたって、アニメや身の上相談などの紙媒体、ネット上の映像、ニュースや映画の予告、CMなどの新しい動画を教材として準備した。学生にもその旨シラバスに記載し、身近なテーマから授業に関心を持てるようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された			やや達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					
	<p>評価は、最終授業の中でジェンダーを原因とする格差が解消した未来の共生社会を新聞記事として表現し、これに対し当事者性のある課題をどこまで社会的解決に結びつけるかを採点の基準とした。ほとんどの学生がジェンダーを自分の問題としてとらえる力は身につけていた。授業の感想においては、現代社会におけるジェンダーをめぐる諸問題に関心を持ち、自分の考えを述べることのできる思考力が確認されたが、一部には考えをまとめることが難しい学生も見受けられた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>新聞記事として表現された内容から、現代社会におけるジェンダーをめぐる問題を社会的解決が必要であること、実現するための施策などへの理解は達成できたといえる。また、思考判断や意欲関心についても達成されており、おおむね内容的妥当性は認められる。ただし、国籍、人種、障害の有無などに関わらず多様な人々との共生をジェンダーの視点から総合的に捉え、女性が自立的に社会参画に関する問題を理解し、課題解決の方策を考える点は不十分な学生もいた。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>オンライン上ではあったが、アクティブラーニングとなるようブレイクアウトルームを活用し、講師と学生、学生同士で意見を交換しながらワークショップ形式で授業を進めることができた。毎回、発表する担当者を決めて、またグループで発表内容を検討するなどして、主体的な学びの場となった。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>ジェンダーや共生社会という概念については、もともと知識のある学生と全く初めて接する学生に分かれていたが、最終的には基礎的な知識を身につけたものと思われる。身近な問題を社会的施策といった政治や経済と関連する理解を今後はさらに深める必要はある。</p>
-------------------------------	---



リフレクションカード 2021年度前期

学科	保育科
氏名	命婦 恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
心理学	1	前期	選択	いいえ	19

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>昨年度に引き続き、リモートで実施した。一般教養の選択科目であり、学生の受講動機は授業内容への関心と卒業のために必要な単位数の確保であった。認知心理学と健康心理学の知見を中心に進化的な視点から、エビデンスに基づいた内容を講義することに重点をおいた。リモート授業の利点を活かして、映像資料を多く使用し、学生が興味をもって取り組めるように工夫した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の自己評価では、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」という項目に対して、平均値が4.1点と高く、授業の目標である知識の伝達ができていることがわかる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>1年生前期科目であり、専門科目の「保育の心理学」や「こども家庭支援の心理学」などに関連する科目である。授業で取り上げるトピックを選ぶ際に、受講した学生にとっては、それらの専門科目の内容を理解する手助けになるように考慮している。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>オンデマンド方式を中心として授業を実施したために、学生との双方向的なコミュニケーションができる場面が希薄であった。今後、全学的に対面での授業機会が増えることで、改善できると考えている。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>多くの学生が心理学についての新しい知見を得たと感じており、一般教養科目としての役割を果たしていると考えます。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	保育科
氏名	James Hicks

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
英会話入門	1	前期	選択	いいえ	52

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>For this course we used the textbook "Four Corners 1" (Cambridge), which guides students through practical exercises aimed at improving spoken English skills. Students engaged in listening practice, dialogue drills, information gap exercises, role plays, reading comprehension, and vocabulary building for the first half of the textbook.</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>Students were assessed on passive participation, weekly class tasks, and presentations (80%) and a final assessment (20%). Student scores were well-balanced from the 60s through the 90s.</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

Students were very enthusiastic, positive, and willing to learn. This positive outlook contributed to a high level of participation and increased understanding of the material. Opportunities to build skills (DP5) were provided throughout the course with many students taking advantage of the opportunity to learn.

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」 「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

Goals for the next academic year will be to integrate the huge amount of additional blended learning materials created over the past year and a half. New approaches and skills were required to successfully plan, distribute, monitor and collect the productive output of the students. This was achieved while also accurately tracking and assessing every single student up to the usual standards under the extremely difficult circumstances of the COVID-19 pandemic. I am very proud of what has been achieved the past year and a half on behalf of the students.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

The workload this term was easily double that of a usual term, but the results of the work have been remarkably successful. I look forward to returning to face-to-face classes after working so hard to maintain the academic standards of the university under such extreme circumstances.

リフレクションカード 2021年度前期

学科	保育科
氏名	金 光子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ハングル入門	1	前期	選択	いいえ	43

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>韓国語が初めての受講者が多いことから、ハングル文字でつまづかないように経験上理解しにくいところを先回りして解説するなど、わかりやすい授業を第一に心がけた。もともとK-POPや韓流ドラマなどの影響を受けている学生が多く、できるだけK-POPアーティストや韓流ドラマ俳優などが使うフレーズや言葉なども文法学習で取り入れながら、学生が韓国カルチャー情報を見る際に実際役立つような授業も心がけながら、学生の自発的な韓国語学習を促すことに重点を置いて取り組んだ。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された				やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>毎週の提出課題についてみると、回数が進むにつれて学習の成果が表れており、後半に向けては完成度の高い内容の課題を出せるようになっていった反面、遠隔授業により目が行き届きにくい点もあったと考える。到達度自己評価の平均点、中央値からみて教育目標はやや到達したと考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本講義は語学学習を通じて韓国という国、地域、社会や歴史に興味を持ち、言語に現れる文化などの違いを理解し、また、習得した韓国語を実際に話してみることによって、異文化圏の人々との相互理解の一助になるものと考えてため、「教養と知識を身につけている」「コミュニケーション能力やマナーを身につけ、他者と協働することができる」としているカリキュラムマップにおける本講義の位置づけからみた内容的妥当性は問題ないとする。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の進め方は課題の出来具合をしっかりと把握し、つまづいている受講者がいれば個人的に質問を受けて指導にあたったりもした。遠隔授業の進め方については学生からアンケートを取り、意見を取り入れながら授業の作成に臨んだ。授業の予習と復習の時間が若干伸びていないのは宿題が易すぎたか、自分の思いを優先したためか、評価に直接つながらない学習には積極的ではないと感じた。いずれにしても前期に履修すべき語学の基礎的レベルには達したと思う。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本講義ではハングル文字の書き方、正確な発音など、これからの発展的な語学学習の重要な基礎を身につけることができ、韓国語でのコミュニケーションの第一歩を確実に踏み出せたと思う。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	保育科
氏名	池田 佐輪子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育者論	1	前期	必修	いいえ	49

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>・資格取得の必修科目でもあり、テキストや参考文献、画像等も活用しながら伝えるべき内容を網羅するように心掛け、対面、オンラインそれぞれに対応しながらシラバスに従って授業を進めた。</p> <p>・これから保育者を目指す1年前期の段階で、現場をイメージしやすいように保育現場でのエピソードを織り混ぜながら、望ましい保育者として押さえておくべき知識理解・態度について説明することを重視した。</p> <p>・対面と遠隔のハイブリッド形態の授業であったが、いずれにおいても教員と学生と双方向のやり取りができる授業になるように考慮した。オリエンテーション後の授業でそれぞれ学生が考えている望ましい保育者像や子どもの姿について課題を出し、それを集計したデータをもとに望ましい保育者の専門性や倫理観について解説を行った。</p> <p>・本科目受講前と受講後と同じ課題を出し、その内容を比較することで、自らの学びを振り返り、深めることができたようにした。</p> <p>・昨年度は定期的に小テストを行ったが、今年度は持ち込み不可で定期テストを行い、内容理解の確認を行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	やや達成された			達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>・全体を通しての成績は86.1(±4.0)であった。総合評価としてほとんどの学生がA評価以上のレベルであった。</p> <p>・重要なポイントを押さえながら授業を行い、定期試験は平均値が82.7点(±3.4)と好成绩で、知識理解は概ね達成されたと考える。しかし定期試験の得点が低い学生が数名いたので、今後の課題として学生全体への理解を促す方法を検討していきたい。</p> <p>・学修態度としては出席状況は良好であったが、遠隔授業において学生側のカメラやマイクの調子がよくないことが多々あり、授業への主体的な参加について注意喚起を行うことは難しかった。意見交換の場面では、事前に課題シートに従って行った意見交換では、遠隔授業においても回を追うごとに自主的に意見を述べる学生が増え、主体的な学びにつながったと思われる。</p> <p>・授業内容に該当するテキストの箇所を知らせて、レジュメを配布することで予習・復習を促してきたが、授業アンケートによればテキストやレジュメを使って予習・復習することが十分できていたとはいえなかった。それでも定期試験前には授業内容の確認学習はできていたようで、定期試験の結果では概ね知的理解はできていたと思われる。</p> <p>・授業アンケートの「自由記述」より、現場でのエピソードを織り交ぜた説明が有効で、内容理解が促されたようである。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

・本科目は、「専門教育科目」の「教育に関する科目」「保育の本質・目的に関する科目」に位置付けられており、幼稚園教諭2種免許、保育士資格取得に必要な科目である。ほとんどの受講生はいずれの免許・資格の取得も希望しており、真面目に授業に臨む姿が見られた。

・自由記述では、現場での事例（プライバシーに配慮して加工しながら）を用いて解説したことで、「多くのことを学べた」と記述している学生が複数いた。事例を使った説明は有効であったと思われる。

・以上より内容的妥当性には問題はないと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

・入学直後のそれぞれの学生がもつ望ましい保育者のイメージを活かしながら、テキストを用いた解説に加え、他者の意見も取り入れながら、より望ましい保育者像を構築することを目指した。昨年度の遠隔授業ではグループワークは難しかったが、今年度は昨年度の経験を活かして遠隔でも意見交換の時間をもったことで、対面ではより自発的に意見交換を行うことができ、他者の意見も取り入れることで学びがさらに深まったと思われる。

・授業後半で、改めて「望ましい保育者像」について課題を出し、授業前半での内容と検討しながら授業での学びを振り返る機会を作ったことで、それぞれ自分の学びを実感できたと考える。しかしまだ「コミュニケーション力や表現力を高める」項目の評価が不十分なので、引き続き発表場面を増やすなどの工夫をしていきたい。

・授業内容を記載したテキストの箇所を明確にし、レジュメを配布することで予習・復習を促したが、まだ予習・復習が十分とは言い難い。主体的な学びを引き出せるように、さらに具体的な課題の提示に留意していきたい。

・保育現場でのエピソードは、学生の理解を促すために有効と思われるので、守秘義務に配慮しながら継続していく。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

・学生の達成度自己評価とトータルの成績より、概ね授業の目的は達成できたと考えられる。上記の課題を意識しながら、さらに「コミュニケーション力や表現力を高める」ことができるように、また学生の主体的な学びを促すように授業内容を工夫していきたい。



リフレクションカード 2021年度前期

学科	保育科
氏名	末崎 雅美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育原理	1	前期	必修	いいえ	49

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>*卒業必修科目であり、資格に必要な科目のため、全員履修した。</p> <p>*保育に関する基本的な理念や概念の整理などを行う授業であること、特に基礎となる知識習得を重点的に学ぶよう開講時に説明を行った。試験についても、事前に3回の小テストを行い、通信環境の確認や出題傾向や問題は分かるようにしておき復習がやりやすいように心がけた。</p> <p>*授業の進行には、ノートプリントを用いた。穴埋め形式のため、キーワードとなる言葉や概念の整理と共に、どのような学習の経過を辿ったか分かるように工夫をしている。自分の考えやアイデアを記述する欄も設け、それに基づいて意見発表ができるようにしていた。</p> <p>*こちらが配布するプリント以外に、自発的にノートをまとめる学生もいた。参考書籍等も適宜紹介を行った。学生の自発的な学習については、3分の2以上が自発学習に取り組んだと答えており、自由記述にも多くの取り組みを行ったことが記されていた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>*全体の成績は79.5と高く、80%の学生が秀と優の成績を収めている。不可を取った学生は1名だが再試験では十分な成績が取れている。授業評価アンケートにおいても、「自分なりの目標を達成した」平均4.3で、「そうでないと思う」「少しそうでないと思う」が0名となり、学生の自己評価を合わせても、授業目的は達成されたと評価する。</p> <p>*授業に対しても、意欲を持って取り組んでいることが分かった。前述したように、自己学習に積極的に取り組んだ学生が多かった。本試験に向けた小テストを授業内に3回（オンライン回答）実施した。学生にとっては学習のポイントを押さえることができたようで復習する機会となったようである。また、穴埋め式プリントにより覚えるべき用語や概念をまとめたため、学生個人の振り返りもしやすかった・学習が進めやすかったとの自由記述の意見が複数見られた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>入学直後の1年前期に配置される、基礎となる用語や概念の習得、子ども理解を学ぶ内容であるが、カリキュラムツリーの位置づけとして十分に妥当であることを示した結果となった。</p> <p>DP、行動目標に置ける内容的妥当性についても、十分に確保されていると思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価について、思っていたより高い評価を得ることができた。オンラインの授業だったためパワーポイント資料の作成には視覚的に分かりやすい工夫をこらし、学生からは「分かりやすかった」と受け止めてもらえて非常に安心している。</p> <p>100分授業を画面越しで受ける学生にとっては、集中力を持たせることが課題となるだろうと思い、途中にストレッチやクイズなどの小休止の時間を確保した。意外とこの息抜きが学生にとっては気分転換になったようで、授業のペースとして受けやすかった、楽しかった、楽しく受けられたという声があった。</p> <p>説明については、オンラインで通信状況が悪い学生もいることを想定し、曖昧な言葉遣いは避け、発言の内容はできるだけスライドに盛り込み、スライドの展開も余裕を持たせる等配慮を行った。この点が結果的に「分かりやすかった」との反応を得ているので、今後とも継続していきたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>原理系科目はどうしても学生にとってはとっつきにくい内容であるため、堅苦しい内容にならないよう工夫を行い、自己学習ができるような取り組みも行ったことで学生が学習目標を達成できる結果となった。一方、知識の理解を目的とする内容の授業は、オンライン講義には向いているのではないかと感じた。学生の集中のペースなどを考えながら進めていくことで、モチベーションもある程度維持できると考える。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	保育科
氏名	末崎 雅美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
教育原理	2	前期	必修	いいえ	72

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>卒業必修科目のため、学科の全学生が履修する。情報量がかなり多い授業内容であったが、一年次の学習や実習経験が基礎として活かせるよう、内容も十分に関連付けながら、より理解を深められるよう授業計画を立てた。オンライン授業だったためにパワーポイント資料を準備した。また話のポイントが押さえられるようレジュメプリントを「穴埋め方式」にして書き込みができるよう工夫をし、また最終的にプリント提出を評価対象とした。日々の学習課題は簡潔にまとめられ、その日の学習内容が振り返られるテーマを課した。期末試験に備えられるよう小テストを3回行った。期末試験については試験勉強で備えられるよう問題を予告するなど行った。</p> <p>授業内課題については、特に大きな不満はなかったようである。自由記述には「楽しく受けられた」との声がほとんどであった。自発的学習に取り組んだ学生は47%と半数以下だった。自発学習に取り組まなかった理由として「他の授業の課題があったから」との意見があり、本科目の自発的学習の優先順位が下がったと考える。しかし、小テストがあったために自発的学習に取り組んだ学生も多かった。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終の成績評価の平均は79.2と高い結果となった。不可となった学生が2名いたが、最終的に再試験を受験して単位取得できている。</p> <p>試験の形式がオンラインで選択問題が多かったこと、オンライン授業で出席がしやすかったこと、穴埋めプリント+小テスト3回と学習の振り返りをやりやすくしたことなどが評価が高くなった要因だったと考えられる。</p> <p>また授業評価アンケートでも学生の自己評価として「自分なりの目標を達成した」平均3.9、「知識を得た」平均4.2となり、「全くそうでない」「ややそうでない」に回答した学生は0名だったため、DP1は「達成された」としたい。</p> <p>またDP3に関しては昨年度よりも自発的学習に取り組んだ学生は増えており、小テストや試験のための学習だけでなく疑問点を自発的に調べる等の回答が複数見られた。そのため「達成された」と評価したい。2年生前期は科目も多く他の科目の課題も多い時期であるが、適切な課題設定の必要性が今後の課題と考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>DP、CPともに内容的に妥当であると言える。カリキュラムマップにおける位置づけについても、妥当である。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業評価アンケートの「授業の質評価」について、比較的高い数値を得ることができた。オンライン授業でパワーポイントとプリントでの授業進行であったが、「説明は理解しやすいものだった」4.3と評価されたことは非常に安心し、学生の受け止めも良かったと思われる。また自由記述には「楽しかった」「面白い」「たまのクイズが楽しかった」とオンライン上でも楽しさを感じられるよう工夫を行ったが好評であった。</p> <p>一方で、昨年度の課題であった「発表するなどの学生が参加する機会」については4.0と若干向上した。Googleのアンケート機能やチャット機能を積極的に利用したが、口頭での発言の機会は少なかったため「発言した」という実感がわきにくいかもしれない。学生の授業参加については次年度へも継続課題としたい。</p> <p>配付資料について一部の学生から、余白を大きくしてほしいとの要望があったが、できるだけ細かな情報を紙面に盛り込み、PPで視覚的に理解を促す、という授業スタイルで進行するため、次年度は自発的にノートを別途準備するよう指導を行いたい。</p> <p>回答を要する質問として「小テストの時にスマホの人はプリントを見られるが、パソコンで受ける人は見られない」との意見があったが、プリントを見ながら回答することは事前に許可しており、不公平さは無いはずである。授業に備えて資料のプリントアウトをしていないということでの不公平さであれば、学生の受講態度の改善を求めたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>DPについては「達成した」との評価で、授業内容や進行の方法については概ね問題なかったと考える。上述したが、プリントの余白にノートを無理矢理書き込み「余白が足りない」と要望する声や、授業資料を事前にプリントアウトしていない可能性がある学生など、学生の受講態度の改善も課題になると考える。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	保育科
氏名	笠 修彰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども家庭福祉	1	前期	必修	いいえ	49

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目の受講対象者は1年生である。卒業必修科目であり、保育士資格取得のための必修科目であることから、全ての学生が受講している。開講時期が1年生前期ということもあって、保育者が福祉を学ぶ必要性を理解できずにいる学生も少なくない。そこで、保育者が福祉を学ぶ意義等について繰り返し説明するなどして、受講の動機づけを行うよう心掛けている。また、学生の学習準備性を高めること、学習状況を確認することを目的に、予習プリントの配布と小テスト実施している。今年度も昨年度同様すべて遠隔授業であったが、授業内容の質を落とさぬようチャット機能を活用した質疑応答や資料内容の改善を行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な評価としてA-18名、B-7名、C-7、D-15であり、A・B評価を得た学生が全体の53%であったことから、目標はやや達成できたと考える。他方、学生の授業評価アンケート結果を見ると、到達度自己評価の全ての項目においての96%以上の学生が「まあまあそうだと思う」以上の評価がなされており、授業の質評価に関する項目ではすべての項目において肯定的評価を得ることができた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「専門科目」における「保育の本質・目的に関する科目」に位置付けられるもので、福祉系科目の基礎となる科目の一つである。保育士資格取得のための必修科目であることを学生も理解しているため、受講に対する意欲は高い。DPに関して「学習達成度の自己評価」における知識理解を示す項目で、全ての学生が肯定的評価をしていることから、本科目における内容的妥当性は確保できていると考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業では遠隔での授業運営という点を考慮し、可能な限り学生が発言できる機会や主体的に考えることのできる機会を設けるなどして、双方向授業を心掛けた。また、継続的な取り組みではあるが、予習プリントの配布や單元ごとの小テストを行い学習準備性の向上にも努めた。「授業の質の評価」に関する全ての項目において肯定的な評価を得ることができたのは、このような取り組みによるところが大きいのではないかと考える。その一方で、定期試験を持ち込み不可にしていることに抵抗感を抱いた学生もいたようである。本科目の特性や学習目標等について、折に触れ学生に説明することを心掛けたが、十分に伝えることができていなかったのかもしれない。学生自身が学習目標を十分に理解することは、受講の動機づけや学習意欲の向上と深く関連すると考えるため、学生への伝え方の工夫と丁寧な説明に努めていきたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>学生の取り組み状況や評価の結果から本科目の学習目標はやや達成できたと考える。今年度もすべて遠隔授業であったが、昨年度と比較し「達成度自己評価」「授業の質評価」の平均値の上昇がみられた。遠隔授業の特性を考慮した教材の工夫やチャット機能を活かした学生の疑問等への細やかな対応等を徹底したことが、このような結果につながったのではないかと考える。また、学習準備性を高めるための取り組みについても、徐々に成果につながっているように思われる。今後も引き続き、学生の教育環境を踏まえつつ、引き続き、教育の質の確保・向上を目指した取り組みを行っていきたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	保育科
氏名	笠 修彰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
社会的養護Ⅰ	2	前期	選択	いいえ	68

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は保育士資格習得の必修科目であることから、資格取得を目指す全ての学生が受講している。授業では、社会的養護に関する制度・施策、子どもの人権擁護や自立支援、社会的養護の現状と課題など、社会的養護の担い手である保育士に求められる知識の獲得を目指している。また、社会的養護への意欲関心を高めるとともに、社会的養護の実践を具体的にイメージできるよう、適宜事例等を用いた授業展開を心掛けた。今年度は14コマ中6コマが遠隔授業となったが、その間についても授業の資料が早い段階で学生の手元に届くよう事前配布を行い、学生の負担軽減、教育の質の確保に努めた。学生の学習状況を把握するため、適宜小テストを行い、授業理解度の低い学生については必要に応じて個別対応を行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な評価としてA-28名、B-13名、C-12名、D-12名であり、A、B評価を獲得したものが全体の約63%であった。また、再試験対象者は5名であった。学生の授業評価の結果をみると、「学習達成度の自己評価」は全項目において約91%の学生が「まあまあそうだと思う以上」の評価をしている。</p> <p>以上のことから、目標はやや達成されたと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、保育士資格取得のための必修科目であり、「保育の本質・目的に関する科目」に位置付けられている。授業評価アンケートの結果からもほとんどの学生が資格取得のための必修科目であることを理解しているため、受講に対する意欲は高い。DPについては、学生の到達度自己評価における知識理解、意欲関心に関する項目で、すべての学生が肯定的な評価をしている。</p> <p>以上のことから、内容的妥当性は確保できたと思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>今年度は基本的には対面授業での実施であり、緊急事態宣言下は遠隔授業での実施となった。遠隔授業中は、昨年度の経験を活かし、対面授業と変わらぬ教育の質を確保できるよう双方向での授業を実践するとともに配布資料の工夫を行った。また、授業終了後も可能な限り学生とのコミュニケーションを図り、学生の疑問解決に努めた。学生からの意見として、授業に対する意欲的なコメントがあった一方で、「話を分かりやすくしてほしい」等の意見もあり、この点については今後も改善に努めていきたい。また、遠隔授業中の小テストの実施方法に改善を求めるコメントも寄せられているため、今後の検討課題として取り組んでいきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>学生の取り組み状況や評価の結果から、本科目の学習目標はやや達成できたと考える。今年度は結果的に対面授業と遠隔授業を織り交ぜた形での授業運営となった。特に遠隔授業期間中は、昨年度の経験を活かして、教育の質の確保に向けた取り組みを行うことが出来たのではないかと考えている。本科目は保育士に求められる専門的知識を獲得するだけでなく、職業理解にもつながる重要な科目である。学生の受講意欲や興味関心を高めることが出来るよう、授業改善に向けた取り組みを行っていきたい。</p>
-------------------------------	---



リフレクションカード 2021年度前期

学科	保育科
氏名	河嶋 静代

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども家庭支援論	2	前期	選択	いいえ	70

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>授業の実施にあたり大切にしていることは、基本的な知識を踏まえることである。そのために、毎回、ワークシートを準備し、テキストのキーワードや要点をまとめることができたようにした。予習や復習にワークシートを活用しやすいようにテキストのページ数を掲載した。授業への参加を促すために、ワークシートの回答について、なるべく全員の学生が当たるようにした。また、家庭支援のための児童福祉サービスや児童虐待の対応などの実際がわかるように視聴覚教材を用いた。コロナ禍において、遠隔の授業になり、対面授業ではないので「技能表現の学習」には難しく限界があったが、事例を用いて「特別な配慮を要する家庭」について、ジェノグラムを使って家族関係について考えたり、エコマップを描いて、家族をとりまく支援関係（施設やサービス）について検討し、学生に発表してもらい、保育士の家庭支援の技術の実際について学べるようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された			やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の授業評価アンケートの結果では、回答数61名の学生の「到達度の自己評価」では、(1)～(10)の項目を⑤「かなりそうだと思う」が約15%～21%、④「わりにそうだと思う」は約48%～38%、③「まあまあそうだと思う」は31%～41%、②「少しそうでないと思う」約1%①「まったくそうでないと思う」は0%だった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

学生のアンケートの自由記述欄の声からは、学習意欲に関しては受け身的で、授業科目への主体的な取り組みや関心が低いように感じられた。他の教科の課題との調整に苦慮している様子も伺えた。本科目では、授業の出席、授業参加の状況や、毎回（15回）の課題は大方の学生が提出できていたので、大変評価できている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」

「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

教員が遠隔授業で操作に慣れておらず、授業がスムーズにいかないこともあり反省している。自由記述欄では、学生によって、授業の目的や意味が理解できていない学生がいたり、課題が多いと感じている学生がいるなど、学習意欲のある学生とそうでない学生など個人差が見られた。テキストに掲載されている家庭支援のための施設やサービス、児童虐待やDVの対応など、その実際を知るために視聴覚教材を使用した。法律では、動画の公式チャンネルや国や地方自治体の啓発動画等のリンクを張ってデータを共有するのは著作権侵害にならない。学生の指摘にあったが、違法動画などに気を付け、公共的な視聴覚教材を活用することで学びを深めてもらいたいと思っている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

98%の学生が「到達目標が達成した」と評価していた。その内訳は③「まあまあそう思う」36%、④「わりにそう思う」48%⑤「かなりそう思う」15%だった。自由記述の意見では、学習に対して受け身的な意見も散見できる。授業科目に、いかに学生に興味・関心をもってもらい、主体的に学習に取り組んでもらえるかが課題である。授業終了後のアンケートにおいても、授業科目の目的やねらいが分かっておらず、何のために学習しているのか分からないという学生もいた。「到達自己評価」の①「まったくそうでない」②「少しそうでない」と答えた61人中1~2名の学生かもしれない。遠隔授業だと、ひとり一人の状況が把握しにくく、授業について行けない学生を見落としがちになる。授業内容の理解が難しい学生にも、授業に関心をもってもらえるようにすることが大切である。来年度に向けては、子ども家庭支援の必要性を理解してもらうために、今年度のように視聴覚教材の使用だけでなく、学生が興味・関心をもてるようにアクティブラーニングをもっと取り入れるなど、工夫を凝らしていきたいと思う。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	保育科
氏名	阿南 寿美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育の心理学	1	前期	必修	いいえ	49

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、資格取得に必要な科目であるため、幼稚園教諭免許、保育士資格いずれかを希望する学生は全員受講している。しかしながら受講動機において資格取得に必要であると認識している学生は半数である。現在、授業初回にカリキュラムツリーを用いて説明してはいるが、より丁寧に伝えることが必要であると思われる。</p> <p>受講学生は乳幼児についての基礎的知識や体験が少なく対象に対するイメージが難しいのではないかと考え、スライドには写真を用い視覚的に理解を促す、幼少期に関して自身の記憶を想起できるような働きかけを行う、他科目ではあるが見学実習や遊び体験を振り返ってイメージする機会を持つなど配慮した。配布資料はスクリーン用とは別に内容を集約し、適宜書き取りを行う事によって授業に集中できるようにしている。</p> <p>講義を進めるにあたっては、なるべく教師からの一方的な教授になることの無いよう、事例や学生同士のディスカッションを取り入れるように心がけた。また、講義を主体的に受講することを意識づけるために、評価に授業ノートの提出を取り入れている。これにより、講義であっても重要箇所を聴き取る力を身につけられるよう意識している。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な評価は77.5点（最高点89点、最低点67点、B-19人、C-20人、D-5人）である。本科目は、2クラスに分かれて行っているが、各クラスの平均得点はAB-77.9点、CD-77.1点であった。A,B,C,D評価の内訳もほぼ変わらない。つまり、両クラスも偏ることなくほぼ同じくらいの理解度であるといえる。評価の観点については、従来と同様であるが、平均点、評価区分ともに例年よりも低い得点となった。今年度は試験において記述式問題を増やすなど学生の思考を促す設問を取り入れたことも要因の一つと考えられる。また、「到達度自己評価」、「授業の質評価」では、ほぼ全員が「まあまあそうだと思う」以上も評価をしているが、個別に見ると、(1)(5)(7)(9)(10)において数人の学生が「少しそうでないと思う」を選択している。これらの学生に対してのフォローが今後必要になると考えられる。授業の質評価については、全員が「まあまあそうだと思う」以上を選択しているため、さらに改善・工夫を行い質を保てるようにしていきたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、卒業必修科目であると同時に、「専門科目」における「保育の対象の理解に関する科目」に位置付けられており、幼稚園教諭免許（必修）、保育士資格（必修）の科目である。受講生は、いずれかの免許・資格を取得する目的を持っているため、比較的受講の意欲は高い。</p> <p>DPに関しては、試験解答状況を見てもほとんどの学生において現段階での課題は達成できていると考えられる。</p> <p>以上の事より、内容的妥当性には問題ないと考えられる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業時の発言は学生にとって勇気が必要であり、発言する学生としない学生に偏りが見られる。コロナ禍の状況もあり、回数は減ったものの、発言を促す際は少人数でディスカッションする機会を設ける、発言は否定せずに受け止めるなど発言しやすい雰囲気を作る事によって、発言することへのハードルを下げ、意欲が高められるように配慮した。また、個々人が事例検討を深められるように各自がゆっくり考えられる時間を確保した。授業時は配布資料に加え、口頭説明もかなりの分量になるが、学生には内容を要約してまとめるといったスキルを身につけていただきたいと考えている。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>全体的には学生の授業への取り組み状況及び評価結果を見ると、授業の目標はやや達成できたと考えられる。本科目は、保育の道を志した学生が保育者としての視点を学ぶ科目であると考えられる。また、これから2年間かけて形成されていく学生たちの子ども観や保育観の基本となる内容を取り扱っているため、授業理解度を途中で確認できるような機会を設けるなど、学習内容を深化させられるような取り組みをしていきたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	保育科
氏名	阿南 寿美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こどもの理解と援助	2	前期	選択	いいえ	70

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、保育士資格取得に必要な科目であるため、保育士資格を希望する学生は全員受講している。しかしながら受講動機において資格取得に必要であると認識していない学生も少なからずいる。授業初回にカリキュラムマップを用いて説明してはいるが、より丁寧に伝えることが必要であると思われる。</p> <p>受講学生は1年次に教科や実習の中で乳幼児の発達の様子をある程度理解していると考えられるため、本科目では、実践事例を中心に実際保育者としてどのように子どもを理解し援助すればよいのかが理解できるように授業計画を立てた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な評価は84.4点（最高点100点、最低点11点、A-30人、B-25人、C-6人、D-6人、E-3人）である。本科目は、2クラスに分かれて行っているが、各クラスの平均得点はAB-84.4点、CD-84.4点であった。A,B,C,D評価の内訳にはほぼ変わらない。つまり、両クラスもほぼ同じくらいの理解度であるといえる。</p> <p>「到達度自己評価」、「授業の質評価」では多くの学生が「まあまあそうだと思う」以上も評価しており、全体を通して目的は達成されたのではないかと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「専門科目」における「保育の対象の理解に関する科目」に位置づけられており、保育士資格（必修）の科目である。受講生は資格を取得する目的を持っているため、比較的受講に対して前向きな学生が多いと考えられる。</p> <p>また、本科目では、個の対象の理解や集団の理解、それに対する保育者の援助のあり方など、実践事例を中心に読み解いていった。学生が保育者として子どもを援助する際の視点を育むことができたのではないと思う。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>実践事例については、学生たちの経験に合わせてなるべく多くの保育観や子ども観と結びついた意見を踏襲していきつつあったが、今年度は基本的に個人ワークを行い、教師からの事例の分析を中心に授業を展開した。</p> <p>授業の改善については、学生の自由記述の中に「課題が多い」との記述がある。しかし本科目での課題は通常時は授業時のノート整理のみである。他には授業時にも時間を確保しているものが2点と、試験評価に類するレポートが一点である。試験評価に類する課題に関しても1か月以上の作成期間を設けている。他の科目との課題の重複もあり、負担と感じたのかもしれないが、これらを作成するための情報の整理や計画を立てて実践することは、今後も必要とされる能力の一つである。これらの力を身につけられるような指導も今後考えていきたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>全体的には学生の授業への取り組み状況及び評価結果を見ると、概ね授業の目標は達成できたと考えられる。本科目は、前半は1年次の学びと実習を振り返る形で講義を行い、後半は6月に行われる実習での自身の経験をもとに実践事例を分析していきたい科目である。実践は個人で行うことが多いため、個人の意見を引き出すことを中心に、様々な人の考えを知る機会となるようグループワークも取り入れられるようにしていきたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	保育科
氏名	手嶋 英津子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こどもの食と栄養	2	前期（後期）	選択	いいえ	68

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、保育士を目指す学生に乳幼児期の発達段階に応じた栄養と食生活の重要性について理解を深めることを目的としている。受講動機は、必修科目である、資格取得に必要であると回答している学生が大半である。保育士として食育を実践する力が身につくように調理実習やグループ活動などの体験を通して学べるように工夫した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートの結果より、自分なりの目標を達成した、知識を確認、修正したり、新たに得ることができたと、達成度自己評価のほぼすべての項目において、平均4.0点以上であった。</p> <p>また、授業内に実施した、発表等においても基準を達しており、この評価とした。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>学習到達度の自己評価は、全てにおいて平均がほぼ4.0点以上であったため、内容的妥当性はあったと推察される。調理実習を取り入れ、体験を通して食の重要性が伝わるように工夫した。また、食育の実践力を身につけるためにグループで発表を行った。オンラインでの発表ではあったが、各班の発表を通してさまざまな食育の視点を修得させることができた。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>保育士を目指す学生に、食の重要性をわかりやすく伝えられるように工夫した。オンラインではあったがグループワークや発表を取り入れ、体験を通して自然に食について学べるよう組み立てた。また、調理実習では、離乳食から幼児食までそれぞれテーマを決め、段階的に学べるよう工夫した。お弁当のメニュー作りからお弁当作りを実施し、栄養バランスや量について実践的なスキルを身につけることを目的とし実施した。初めてお弁当を作ったり、初めて体験した調理作業もあったという感想を授業内で聞くことができ、調理実習を通して、食に興味関心を持つことにつなげることができたと考えられる。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>対面授業とオンライン授業とそれぞれの特性を活かし、保育士を目指す学生に食の重要性を理解し、食に興味関心を持ってもらえるか工夫をした。調理実習については、食の重要性、実践力がもっとわかりやすく身につけられる機会となるため、来年度も感染症対策に十分に留意しながら対面授業が可能な際にはできる限り実施できるよう努力していきたい。今年度は調理実習の際に、1テーブルごとの人数を制限し、なるべく黙食を心がけてもらったが、「グループ全員で食べたかった」との意見があった。また、「その工夫ができたのではないか」との指摘があったので、安全に調理実習が行える環境づくりや調理実習の目的についての説明方法に改善が必要であると考えられる。</p>
-------------------------------	---



リフレクションカード 2021年度前期

学科	保育科
氏名	村上 里絵

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育内容総論	1	前期	必修	いいえ	49

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>「保育内容総論」開講にあたり、小学校以降の教育と就学前教育及び保育の違いをまず押さえました。その上で、就学前教育&amp;保育の特徴とその重要性を伝えるように意識しました。具体的な幼児の生活や遊び（活動）の中で発達する姿から、保育内容を総合的に捉える考え方の理解を促すようにしました。また、その考え方は一つではなく、目の前の子どもの姿から始まり、子どもの姿に表れることも意識できるように話をしました。また、その「考え方や答えが一つでない」ということがいかに保育現場で大切であるかについても解説してきました。今年度は、4月から対面での授業でよかったと思っておりましたら、緊急事態宣言の再度の発令により「遠隔授業」になったことはやむを得ないことだと承知しておりましたが、切り替えに難しいものがありました。が、1年生が柔軟に適応してくれたので、何とか「遠隔授業」が成り立ったと思います。最終日の持ち込みミニテストの平均点もA Bクラスが96点。C Dクラスが97.2点とかなり高得点でした。授業中に重要ポイントを理解しているように感じられました。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>「自分なりの目標を達成した」の平均値は、4.3で、だいたい達成できているのではないかと思います。項目中の「コミュニケーションや表現力を高めることが出来た」は、4.3でしたが、対面授業であればグループディスカッションや隣の席の人との意見交換を通してコミュニケーションを図る機会が増えて、表現力を高める一因になったのではないかと思います。「説明は理解しやすいものであった」は、平均値4.6と高得点でありましたが、これは実際の保育現場について事例を語ったことで理解が深まったのではないかと考えます。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>  
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

受講動機に関しては、「必須科目である」理由が最も多く、86.1%でした。その反面「関心のある内容である」からは、25.0%とかなり低く、「保育内容総論」について内容が科目名からわかりにくいという点も一因として考えられると思います。この授業の重要性を認識するのは、実習に出かけたり、保育現場に出た時なのだろうと推察します。現段階での学習到達度の自己評価を考えると、この段階では妥当なのだと思います。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。  
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>  
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

「対面授業」と「遠隔授業」の両方の良い面が引き出せるように工夫しました。また、保育現場の実際の子どもの様子を事例として語り、引き続き保育理論と併せて解説し、理解が深まり「保育」に対して興味関心が持てるようにしていきたいと思います。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

今後、「対面授業」が「遠隔授業」に変わる可能性があることを意識した資料作りの工夫をしていきたいと思っています。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	保育科
氏名	藤田 稔子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育内容「健康」	1	前期	選択	いいえ	49

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、保育士資格及び幼稚園教諭免許取得に関する必修科目です。このことは、第1回目の授業時にカリキュラムマップを用いて学科教育の全体像の中の本科目の位置づけを説明をしました。授業評価アンケートの「受講動機」には、66.7%が「必修科目である」、68.9%が「資格取得に必要である」と回答しており、資格免許取得のための必修科目としてどちらかに回答したのではないかと推察しています。シラバスの活用の回答から、「この授業を履修する際にシラバスの記載を参考にした」と73%の学生さんが回答していました。また、「シラバスに沿って授業を受ける計画を立てた」と回答した学生さんも多く、履修時のみならず、授業においてもシラバスを大いに参考にしてくれたことがわかり、授業への準備状況が整っていると感じました。私自身の授業の準備状況としては、昨年度初めての遠隔授業を経験し、Jam boardやGoogle スライド等様々な方法で受講生が意見を言い合える場を設けるなど、昨年度の反省を生かし工夫することができました。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケート「2. 到達度自己評価」では、該当DPに相当する「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」4.6、「自分が学ぼうとしている専門分野での必要となる技術を身に付けることができた」4.5、と比較的高値であったと評価しています。本科目は、全て遠隔授業で実施したにも関わらず、該当DPの自己評価が4.5-4.6と高値であったのは、意外でもありました。また、「2. 到達度自己評価」の中で4.6であったものに「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」がありました。1年生前期において、本科目が今後の専門分野の学習意欲を高めることができたのであれば、嬉しいことです。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートの「受講動機」、「達成度自己評価」の高値の項目からも、学生たちはしっかりと本科目の位置づけをおさえることができていることから、本科目のDP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の内容的妥当性は担保されていると考えています。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」 「図書館, インターネット利用」 学生の意見など</p>	<p>授業評価アンケート「3. 授業の質評価」では、「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表する等、学生が参加する機会が与えられた」のポイントが4.7と比較的高値でした。実際に昨年度の遠隔授業を踏まえ、様々な手段を用いながら、受講生同士の意見交換の機会や発言しやすいような状況を意図的に作ったり、試行錯誤しながら進めていきました。その効果があったのかな、と思っています。次年度は、従来通りの対面授業が可能となったとしても、授業の中で、今回培った方法を対面でも可能な範囲で活用していきたいと考えています。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>受講生の意欲が高く、遠隔授業でしたがとてもスムーズに授業を進めることができました。しかし、受講生同志の意見交換や発言の機会を設けようとしたため、従来より解説の時間が少なくなりました。しかし、受講生のアンケートを見ると、「保育士として必要なことばかりなので復習したりした」「図書館に行って調べた」「自分の気になる内容について詳しく調べた」「気になることをネットで調べた」「自分なりに疑問に思ったことを調べたりした」「食事や睡眠のことを詳しく知りたかったので、自分なりにネットで調べた」「授業とはまた別に調べた」「授業に関連したNEWSをみた」等、多くの自由記載で授業外での自主的な調べ学習をしていることがわかりました。今後も、自然と調べ学習が進むような授業内容にしていきたいと考えています。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	保育科
氏名	平 寛

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育内容「表現(造形・絵画表現)」	2	前期	選択	いいえ	70

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>○受講動機をみると「必修科目である」68.7%、「資格に必要である」が78.4%と2つにあまり数値に差が無いが、「関心のある内容である」33.3%と少し低い結果となった。これからも出来るだけ具体的な事例を挙げ、造形表現に関心を引き付けるよう改善していきたい。</p> <p>○コロナ禍で対面授業からのWEB授業だったが、適切な課題制作の量質だったと思う。対面授業とは異なる環境下での課題制作の利便性を考慮した授業内容だったが、少数の学生が負担と感じているようだった。もっと、細やかな説明や個別に質問等を出来る時間を準備しなくてはならない。また、使用する材料、制作期間等の調整。</p> <p>○造形表現は個人差が大きいため、制作期間の時間的配分、造形室ではない環境下での作品制作の材料準備等、これからももっと考慮していきたい。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は、A Bクラス79.1点、C Dクラス79点であり、概ねの学生が標準レベルを達成できたが、目標点に達成できない学生が数人いた。造形表現は、同じ空間と環境で、和気藹藹とお互い刺激しながら制作していくことが理想だが、今回のWEB授業と対面授業の併用では個人的に制作し、刺激しあうことが難しい状況でも、概ね授業内容を理解して授業に臨んでいた。昨年の「到達度の自己評価」では、中央値よりも低い項目が3つあったが、今回の「到達度の自己評価」では、(9)の職業倫理や行動規範を除いて、全ての項目で中央値を越す事ができた。これからも、学生達の理解や習熟度を上げるための努力をおこなっていききたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップの位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「認定こども園教育・保育要領」における領域「表現（造形・絵画表現）」に基づき、造形表現の楽しさや面白さを体得できるよう造形実技演習、教材研究をおこなう科目であり、選択科目である。「自由記述の意見」にあった材料等の準備の大変さや作品づくりの大変さ等の学生の意見は考慮に値するが、一定の学生は十分目標値を達成している為、内容的には妥当だと考える。</p> <p>②DP、技能・表現の目標からみでの内容的妥当性 一定の学生の制作に対する姿勢や課題作品の質等を鑑み、内容的には妥当だと考える。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題ないと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>昨年の授業の評価において「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」の平均が2.9と少し低かったが、今年の授業の質の評価は、全て中央値を超えた。Web授業や対面授業でも、学生がもっと意見が言える時間をつくるべく心掛けていきたい。作品の相互鑑賞等で他の学生の作品を評価し合う場を設けたが、自分の作品に対する意見感想の場をもっとつくりたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目は「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「認定こども園教育・保育要領」における領域「表現（造形・絵画表現）」に基づき、造形表現の楽しさや面白さを体得できるよう造形実技演習、教材研究をおこなう科目である。Web授業でも対面授業でも、もっと積極的に自分の意見の交換や発表等、取り入れていきたい。また、学生達が負担と考えていた授業内容等、対面授業では丁寧に説明し、なぜこれをおこなう事が必要なのか等、事例を挙げながら授業を進めていきたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	保育科
氏名	末成 妙子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育内容「表現（身体・音楽表現）」	2	前期	選択	いいえ	67

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①十分な呼びかけはしたものの、授業評価アンケートへの回答が約6割と大変低いもので、そのことをまず反省している。対面授業なら、欠席者以外全員の声を吸い上げることができるのに、リモートの弱点であろう。受講動機は資格免許に必要なので高い数値になっているが、日常の保育で子どもの表現に共感し、認め、伸ばしていくことの大切さをまず知ってほしいと考えた。子どもの音楽表現を保育者がどのように受容し、どのように援助していくかは学生自らが主体的に取り組み学ぶことから得られる。</p> <p>②遠隔授業において、「子どもの歌」を使つての劇あそびの台本作りという課題に向かって授業を進めたが、学生の音楽面への指導が画面越しであるためにもどかしさもあつた。できる限り画面をオンにしてくださいと呼びかけはするものの、画面オフの状態の学生が、しっかり歌ったり動作をしていたかを把握できないので、DP到達度自己評価が4、3という数値は予想を上回るものだった。</p> <p>③全14回分の資料プリントを予め郵送したので具体的な次週への見通しが持てたと思う。</p> <p>④自由記述で「保育現場で役立つ知識をたくさん得られた」「音楽が今まで以上に好きになった」という肯定的な意見がある反面「説明が不十分」「時間配分が悪い」という意見もあり、音楽の基礎的能力によってかなり受け止め方に差が出て、教員の反省するべき点が明確になった。楽譜の読み取りに慣れていて家身近に鍵盤楽器があり、音などを確認できる状況の学生と、そうでない学生の間に理解の差が生まれてしまうのは避けなければいけない。練習時間を設定しても、その時間をうまく使っていない場合は、教師から見えないのでどのように</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された				やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①遠隔授業だったため、身体表現を考えて発表し合うということは歌と上半身が中心になってしまったが、「自分の学ぶ分野での必要な技術を身につける」のDPが4,2という昨年より0.2ポイント上がったので、適切な講義内容であったと思う。</p> <p>②遠隔で個別に提出物を添削することができたのは幸いだったが、個人発表の機会が多くなってしまい、今後の反省である。対面では話し合い活動で他の人の考え方などを知り、自分の表現の参考にすることができるが、遠隔では終始自分と向き合うことになるので物足りなさを感じたとも思う。それが授業の質の評価の「説明が理解しやすかったか」の平均値3,6という数値に表れ、「少しそうでないと思う」の学生の割合が18%になってしまったのだと思う。</p> <p>③「学生の質問に答える」では授業の内容を極力プリントでも説明を加え、質問に答えようと心がけ平均値は4,2となったが、到達度自己評価、授業の質評価のほとんどすべての項目で「全くそうは思わない」という学生がいて、おそらく自由記述の否定的な意見に表れている不満がこの回答になっているのだと思うが、質問の時間をもう少しとって、学生が自由に考え、納得していく道を作らなくてはならないと反省している。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①「自分なりの目標を達成した」は「かなりそうだと思う」「わりにそうだと思う」「まあまあそう思う」を加えると98%になるので、今後に学習が深まり、保育者の基礎を身につけることができたと考えられ、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>②自由記述から「わらべ歌や絵本作成など現場で役立つ技術が学べた」がある反面、音楽の好きな学生とそうでない学生の意見の食い違いが出てしまい、難しさを感じている。特に音楽的理論の面での説明が、音楽的基礎力の差によって開きが出てしまい、反省している。楽器演奏などに親しんできた学生にとってはすぐなじむ説明でも、そうでない場合をいつも考えて説明を進めなければいけない。</p> <p>③学生の通信環境の都合で発表ができない場合は、クラスルームに写真と説明を載せるようにしていた。スマホやパソコンの扱いに慣れてはきたが、スマホで映すだけでは影ができたり自分の足の指が映ったりと、配慮に欠けた提出もあり、専用のアプリを使うことを推奨したが、なかなか徹底せず難しさを感じた。</p> <p>④「課題も明らかであった」が「まあまあそう思う」「わりにそう思う」「かなりそう思う」がいずれも84%となっているので、昨年より0.7. ポイント下がっている、これからの課題だと考えた。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>①授業の質評価において、「授業中に自分の意見をまとめ、話し合う、発表し合うなど学生が参加する機会がつけられていた」の数値が4, 2と出ていたが、遠隔授業で昨年より0.4ポイント上がっていた。個別の添削など、手書きの場合判読が難しい場合もあり、十分できたとはいいがたく、こちらの意図がうまく伝わらないこともあり学生との認識の違いと、伝え方に苦慮した。</p> <p>②緊張感の強い学生が、画面の皆の前で言葉による発表がうまくいかない時は、できるだけ励ましの支援をした。授業を通して自分の適性に向かい合い、得意分野を見つけて、音楽を使って表現する楽しさを味わってほしいと考えた。ピアノにとらわれず「音楽的な表現」を幅広くとらえ、苦手意識を払拭してほしいと折々に伝えた。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>表現の目標である「保育者は子どもたちの表現したいという気持ちを引き出し、その表現を共感をもって受け止め、その子の自己肯定感をはぐくむ」という理論を理解するという学びは概ね達成できたと思う。しかし、学生どうしが話し合い、表現を楽しむ時間を共有することは、このコロナ禍では思うように運ばなかった。また、情報収集がインターネットの検索に偏っていて、安易にアップされたものを模倣してしまうことがあり、「調べ学習」の難しさを痛感している。</p>
-------------------------------	---



リフレクションカード 2021年度前期

学科	保育科
氏名	河瀬 洋美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育実践の理解と方法	2	前期	選択	いいえ	71

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育の基本的な考え方や幼児期における子どもの発達と保育者の援助、指導方法について様々な事例に重点を置いた。</li> <li>・一人一人の子どもをとらえる視点や子どもを理解する姿勢を学んでほしいと思い、資料を作成した。</li> <li>・実習の経験を合わせて各年齢ごとの特質や指導の要点を絞って指導した。</li> <li>・リモートの授業であったため、資料の追加が難しかった。</li> <li>・授業ではレポートの提出を数回行ったが、ほぼ期日通りに提出がされ、内容も良好だった。</li> <li>・課題に対してまじめに取り組んでいる様子がよくわかった。</li> <li>・次年度、この授業があればもう少し資料を増やし、時事問題なども含めて進めたい。</li> </ul>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された		どちらともいえない		やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>  
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

- ・到達度自己評価から見て、「専門分野で学びを深めたいと思う」という評価が低いので意欲的に授業に臨むことができる方法や資料作成を考えたい。
- ・分かりやすかったという意見はありがたく、私としても意欲がわく。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。  
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>  
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」  
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

- ・配布資料の充実を図る。
- ・幅広い知識を得て、感性豊かな保育者を目指すため、読書の推進や時事問題への興味関心を持つように授業内容を深めたい。
- ・学生が質問したり、意見を言ったり、数人で討議する時間も設けたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

- ・わかりやすく充実した内容、実践にすぐ活かせるような理解しやすい資料づくりを目指したい。
- ・コロナ感染も徐々に治まりつつあるので、対面授業になるだろう。リモートの授業はなかなか難しかった。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	保育科
氏名	命婦 恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
障がい児保育演習	2	前期	選択	いいえ	68

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格取得のために必要な科目であり、受講生は保育士資格の取得と保育現場での障がい児保育実践のための知識と技術の習得のために受講している。そのため、保育現場で多く出会う発達障害の子どもたちとその保護者への支援を中心に講義内容を構成した。この授業を受けたあとの夏休みには、半数以上の学生が障害児施設で実習をおこなうことも考慮して授業をおこなった。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された		やや達成された			やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の自己到達度評価についての項目は、いずれも平均が4.0以上であり、授業内容の理解について、各自で手応えを感じていることがうかがえる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>1年生後期の「特別支援教育論(障がい児保育含む)」を受けての授業であり、保育現場での障がい児保育をより実践的に学ぶ位置づけである。そのため、事例を多く用いて、学生が子どもたちひとりひとりの様子をイメージしながら受講できるような内容にした。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>自分自身が経験した事例をもとにしながら、学生が実習先や就職先で経験するような事例を多く作り、よりリアルに事例について考えることができるような授業構成にしていきたい。また、コロナ禍で制限されていたグループでの話し合いなどを活用しながら、アクティブラーニングの要素を取り入れた授業構成にしたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>現場の保育者に求められるのは、確かな知識に基づいて子どもたちひとりひとりに対して現場で考えて判断する力である。そのため、授業の中でも事例に沿って「考える」ということを要求している。「さまざまな課題を検討する力を得ることができた」「的確に判断する力を得ることができた」という項目に対して、多くの学生が「かなりそう思う」と回答していることから、授業目標を達成できているのではないかと考えている。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	保育科
氏名	鬼塚 香

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
子育て支援	2	前期	選択	いいえ	70

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は保育士の資格取得のために必要な科目であるため、遅い時間帯の開講であるにもかかわらず、ほとんどの学生が毎回出席していました。対面授業を想定して授業を組み立てていましたが、一部オンラインでの授業実施となり、慣れない中でみなさんにもご負担をかけたことを申し訳なく思います。</p> <p>この授業は知識を新たに得るといよりは今まで学んできたことを実際に使ってみることを意識して組み立てましたが、新型コロナウイルス感染対策のために、みなさんにやってもらう機会を十分に保障できず、持っている知識や技術が活用できるものだという実感を持ってもらえなかったか不安です。また、相談支援に関する講義内容を復習したり整理しておくよう事前に指示を出していましたが、実際に授業内で扱った内容は最終的には同じことだとしても切り口が少し異なっていたと思います。そして、私が皆さんの反応を十分にキャッチできず、うまく説明できなかったところも多くあったと思います。ですので、皆さんのなかで今までの知識とつながるまでに時間が必要だったのではないのでしょうか。それが授業内容や課題が難しいと感じる理由につながったのではないかと考えます。それでもみなさん熱心に課題に取り組み、理解していることを示されていたと思います。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された			達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>履修学生の最終的な成績分布は、A48.6%、B28.6%、C14.3%、D2.9%、E4.3%でした。ほぼ全員が標準的レベルをクリアし、34名が理想的レベルに達していました。</p> <p>意欲関心 (DP3) については、授業後に毎回提出していただく出席カードへのコメントで多くの学生が、授業でお伝えしたことやワーク内容について気づいたことや考えたことを書いてくださいました。最終レポートでは、この授業で学んだこと、今後への活かし方、自分の課題について、ほとんどの学生が自分の言葉で表現できていたと思います。授業アンケートでも、「専門分野の様々な課題を検討する力を得ることができた」という項目で、「かなりそうだと思う」「わりにそうだと思う」と回答した学生が83.8%でした。よって、この項目は達成されたと考えてよいと思います。</p> <p>また、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」という項目で、「かなりそうだと思う」「わりにそうだと思う」と回答した学生は78.4%でした。保育士の倫理綱領はかなり難しかったと思います。課題の提示の仕方を工夫する必要があったと反省していますが、態度 (DP4) についても達成されたと判断するのが妥当だと考えます。</p> <p>子育て支援に関する技術については、授業評価アンケートの「必要となる技術を身につけることができた」という項目に、「かなりそうだと思う」「わりにそうだと思う」と回答した学生が81%でした。授業内でグループワークを行い事例検討をするなかで、子育て支援の方法</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「専門教育科目」のうち「保育の内容・方法に関する科目」です。保育士の資格取得に必要な科目であるため、選択科目であっても資格取得を目指す学生は履修します。1年次に保育の知識と社会福祉の基礎を学んだあと、この科目で子育て支援の考え方や方法を学び、履修学生も一定の成績を取っています。このことから、CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみての内容的には妥当だったと考えます。</p> <p>また、受講動機を見ると、ほとんどの学生が「資格取得に必要な」「必修科目である」を選んでおり、主体的に授業を履修していました。毎回、熱心に課題やレポートに取り組み、シラバスに提示した学生が達成すべき行動目標やDPについても内容的に妥当だったと考えます。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>この授業は話を聞くだけより、実際に考えたりやってみたりすることが大切ですので、前年度の授業も踏まえ、課題をできるだけシンプルにし、授業内で終わられるよう工夫しました。しかし、新型コロナウイルス対策の関係で、席の移動がしづらかったり、話し合いの進め方が難しかったりして、履修学生に十分に取り組んでもらえなかったかもしれません。また、オンライン授業ではシステムに不慣れなためグループ分けなどがうまくできず、皆さんにご迷惑をおかけしてしまい、申し訳ありませんでした。感染対策と学習のバランスを考えながら、学生主体の授業をどう作っていくか考えていきたいと思います。授業後に、調べてさらに学習を深めた学生もいましたので、いかにみなさんの関心に沿った授業をするかも大切なだと教えていただきました。これも、今後の授業準備に活かしたいと思います。</p> <p>毎回の授業で出席カードにいろいろなコメントを書いていただき、参考にさせていただきました。授業にすぐ反映できるご意見もあれば、取り入れるのが難しいものもありました。特に、授業中に映し出すパワーポイントについては、教室後部に着席されていた方など一部の方には見づらかったかと思えます。ですが、授業を聞いてもらうことを重視していたので、事前にすべての情報を書き込んだものは提供しませんでした。その代わりに、何度か読み上げてそこに書いてあるものをお伝えするという対応を取らせていただきました。授業の進め方の意図を少しでもご理解いただけると嬉しいですよ。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>今期は新型コロナウイルス感染症の再流行により、一部授業の実施形態の変更を余儀なくされ、履修学生には大変な負担があったと思えます。そのなかで、初めて顔を合わせる教員との波長合わせも難しかったでしょうが、毎回、熱心に授業や課題に取り組み、この授業の狙いをほぼ達成できたのではないかと考えます。これは履修学生の努力なしには到達できないことだと考えますので、皆さんの積極的な授業参加に感謝したいと思います。</p> <p>課題としては、子育て支援の技術習得には体験も重要になってきますので、知識を学ぶだけでなく試してみる機会を確保することだと考えます。また、既に述べたとおり、課題の提示の仕方や内容についても、この課題に取り組むことによって何を獲得してもらいたいのか、伝わりやすいものに変更をしていくことも課題だと考えます。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	保育科
氏名	池田 佐輪子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
乳児保育Ⅱ	2	前期	選択	いいえ	68

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>・本科目は保育士資格取得について必修の授業で、保育所に就職希望の学生を中心に、また認定こども園の増加に伴い、幼稚園に就職希望の学生も「保育教諭」の資格取得に向け、主体的に受講する学生が多かった。</p> <p>・1年次の乳児保育Ⅰでの講義と保育実習Ⅰでの保育実践を受けての内容であるため、実習での疑問点や課題等についても検討していきながら、より内容が深まるように、また実習や保育現場での実践面で役立つように、実際に人形や玩具等を用いた演習を取り入れて授業を行った。遠隔授業では画面を通して教員が実践モデルを示すことで補っていった。</p> <p>・子どもの個人差を踏まえながら月齢を追って発達の様子について解説したうえで、その発達を支える関わり、また保育現場での実践について保育のポイントを押さえながら講義を行ったうえで、保育現場に出ることを想定して、各年齢ごとの指導計画を課題とした。それを現場で役立てられるように留意しながら添削することで、実践力につなげた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された		達成された			やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>・トータルでの評価は84.1点（±9.8）で、再試対象者は0名であった。総合評価としては多くの学生がA評価以上の理想レベルに到達できており、乳児保育における思考判断は概ね達成されたと考えるが、適切な指導計画の作成等、今一つと思われる学生もいた。</p> <p>・子どもや保護者への適切な遊びや養護技術などを実施する技能表現においては、遠隔授業においては実際に学生に実践させて意見を述べ合うことが難しく、教員が実践モデルとなって画面を通して伝えることが多かったために、十分に達成されたとは言い難い。</p> <p>・遠隔授業では小グループでのグループワークが難しく、意見交換の場では意見が出しにくい状況であったと思われる。積極的に意見を言う学生も多かったがそうでない学生もあり、こちらから指名して質問をすると意見を述べることはできたが、学生による主体的なディスカッションには至らなかった。</p> <p>・使用教室が本来の乳児保育演習室から離れた教室だったために、実際の道具を使って授業することが難しいことがあった。</p> <p>・授業アンケートによれば予習・復習することが十分できていたとはいえなかったが、レジュメに従って授業を進め、指導計画の作成と検討を行ったことで思考判断の力は定着したものと思われる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・本科目は、「専門教育科目」の「保育の内容・方法に関する科目」に位置付けられており、保育士資格取得に必要な科目である。ほとんどの受講生は資格の取得に向けて授業に臨む姿が見られた。</li><li>・乳児保育Ⅰでの学びに、保育所実習Ⅰでの実践の体験を受けて本授業を行ったことで、知識理解に加えて思考判断の力が深まったと考える。また担任の実践デモンストレーションを見たり、指導計画を立てて検討したりすることで、技能表現の力も加わり、保育所実習Ⅱ、Ⅲでの実践力につながっていったと思われる。</li><li>・現場での事例（プライバシーに配慮して加工しながら）を用いて解説したことより具体的な理解ができたのではないかとと思われる。</li><li>・以上より内容的妥当性には問題はないと考えられる。</li></ul>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方法を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・テキストを用いた解説に加え、具体的な乳児のイメージが持てるように画像が載ったテキストやパワーポイントを活用するとともに、現場でのエピソードを盛り込んだ説明を心掛けた。</li><li>・遠隔授業では双方向でのやり取りを充実させることが難しく、教員から指名をすると質問に答えられるのだが、自主的な発言が少なかった。学生からの質問や意見が出しやすい授業を工夫する必要がある。しかし対面授業でのロールプレイでは、それぞれの学生が主体的に考えたことを発表することができていた。</li><li>・次回の授業内容を知らせて予習を促し、指導計画の作成の課題を出したが、授業アンケートの結果を見ると予習・復習につながっていないようであった。さらに授業内容を記載したテキストの箇所を明確にし、質問内容を工夫して学生が予習・復習の有効性を実感できるようにしながら、主体的な学びを引き出していく。</li><li>・保育現場でのエピソードは、学生の理解を促すために有効と思われるので、守秘義務に配慮しながら継続していく。</li></ul>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・学生の達成度自己評価とトータルの成績より、概ね授業の目的は達成できたと考えられる。また指導計画の作成が実習現場で役立ったとの学生の意見が多く聞かれた。指導計画の作成と検討については継続していきたい。</li><li>・しかし学生の主体的な学びという意味では不十分であった。遠隔授業での制約はあるが、実習や現場での乳幼児との関わりを実感できるような内容を工夫し、学生とのやり取りを重視しながら主体的な学びを促していきたい。</li></ul>
-------------------------------	---



リフレクションカード 2021年度前期

学科	保育科
氏名	藤田 稔子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こどもの健康と安全	2	前期	選択	いいえ	67

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、保育士資格取得のための必修科目です。授業評価アンケートの「受講動機」では、「資格取得に必要である」と回答した受講生が88.1%であり、「必修科目である」と回答した受講生は67.8%であったため、本科目の位置づけをきちんと理解したうえで受講してくれたのではないかと考えています。途中、遠隔授業に変更になったこともあり、「5. 情報利用」の「あらかじめ授業の計画を立てた」と回答した受講生が68%いたことから、きちんとシラバスの授業計画を見て準備を整え授業に臨んでくれていたことがうかがえます。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された		やや達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケート「2. 到達度自己評価」のうち「自分なりの目標を達成した」は4.4であった。私自身の手ごたえとしても同等と思っています。なぜならば、本来この科目は、毎回技術を習得するための演習科目であり、手技を見せるだけでなく、受講生自身がやってみて身体で覚える科目です。途中、遠隔授業にせざるを得なく、授業内容を変更していきました。私自身ももっと受講生へ様々な手技を伝授したかったし、受講生自身も「やってみたい」という気持ちを残してしまったことはとても残念に思っています。その結果が4.4という数値にあらわれているのではないかと推察しています。しかし、全体的にみると、「2. 到達度自己評価」は、4.4-4.5と比較的高値ではあるため、受講生の自己評価はまずまずだったのではないかと思います。成績評価も高得点が多く、1人も不可になることがありませんでした。ただ、技術演習の科目が技術演習できない回があったことから「やや達成された」という評価にしています。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>上記「3. 授業準備」に示した通り、位置づけとしては妥当と思われます。ただし、今年度は、「内容的妥当性」があるかといえば、上記「4. (2)」に記載しました通り、技術演習が十分に行えたとはい切れないことから妥当性は担保できたとは言えないと思っています。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>本科目の最も重要な演習に「応急処置法（心肺蘇生法含む）」があります。従来であれば、日本赤十字社のご協力を得て、蘇生人形を受講生2人に対し1体準備いただき指導者も3名派遣してもらっての手厚い実技指導を共にしていただいていたと思います。しかし、この状況下で学外者への入構を避け、心肺蘇生法に際しては人工呼吸を行わないこと等感染症対策上様々な制約がある中で日本赤十字社のご協力を断念しました。昨年度は私1人で実施しましたが、十分に手技を見てあげることができず、大きな課題として残りました。今年度は昨年度の反省を踏まえ、本学保健福祉学部看護学科のご協力のもと、急性期看護の助手及び助教2名にお手伝いいただき演習を行うことができました。この時の学びは受講生の中で大きく、授業コメントも学びの大きさをあらわすものばかりでした。授業評価アンケートの自由記載にも「保育者として必要な知識や技術を学び、身に付けることができたのでよかったです。保育現場で活かしていきたいと思います」「細かい説明と実技の豊富な授業内容は自分の力になったと思います。これから保育現場でこの科目のことをたくさん思い出したいと思います」と、保育現場のことを想定し、結び付けて受講していたことがわかり、今後も技術演習ができるよう努めていくことが最大の課題としてあります。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本来ならば、対面で受講生の手技を確認し指導する演習ができるはずが、遠隔授業になりできなくなった回があったことはとても残念でした。しかし、今回、初めて学内の他学科の助手・助教の協力を得ることでいつもと違う保育現場に即した実践的演習ができたことは収穫でした。ただ、看護学科が病院実習ができなかったことで助手・助教の協力を得ることができた、と考えると、今後も同様の方法が可能とは言い難いです。次年度は、今年度の良かったことを継続できるように方法を限られた環境の中でできるように試行錯誤していきます。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	保育科
氏名	末成 妙子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども音楽療育演習	2	前期	選択	いいえ	17

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①資格認定のための講義なので受講学生の目的意識がはっきりしていて学習準備は整っていた。遠隔授業のため、テキストと一緒に14回分のプリント資料を郵送で送ったのと、リモートに学生も教員も親しんできたためか、資料面でのとまどいはなかった。教員はあいまいな言葉、言い直しの言葉を極力避けるように聞き取りやすい話し方を心掛けた。研修や新聞の記事などに「リモートにおける話し方」のようなものがあると細かく読んで参考にした。2年生後期の実習を考えて、学生にもリモートでの話し方の心得を折々に伝えた。市内の幼稚園、保育所とリモートでつなぐ「音楽あそび」を常に意識して、障害のある子どもへのはたらきかけができるように工夫した。</p> <p>②導入の仕方から、見通しを持った「音あそびの」計画を立てた。セッションの中のどのような言葉かけや視覚教材で子どもの興味を引き付けることができるかを考え、課題を明確にすることができた。</p> <p>③『静かな森の大きな木』という療育セッションの楽曲集を用いて、選曲したものがどのような子どもの課題に適した楽曲かを検証し、学生各々の頑張る様子を共有し、問題点を丁寧に学びあうことができた。</p> <p>④学生の自由記述では「自分は楽器が得意ではないが歌や楽器の楽しさを学んで有意義だった」というものがあり、ピアノの苦手意識を払</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された					やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①学習到達度自己評価は平均値4.3で「わりとそう思う」「かなりそう思う」が9割で昨年度より0.1ポイント上がっていたで達成できたと考える。</p> <p>②「コミュニケーション力や表現力」の項目では4.7という高い数値で、リモートのためか保育の現場で求められる協働する力が育てにくいというのが学科会でも問題になっていたため、この数値は学生に良い影響をもたらすことができた嬉しく感じる。「知識の確認、修正、獲得」の項目では4.5と「割とそう思う」「かなりそう思う」と83%の学生が感じていたので、表現を工夫しながら丁寧にセッションの説明ができていたと考える。</p> <p>③専用のノート作りはすべての学生行い、学生も1回1回の授業を大切にしながら取り組んでいたと考える。</p> <p>④検索は身近なスマホに頼っていることも多かったが、ちょうどこの時期に私自身が本の執筆をしていたこともあり、出典の明確さ、校閲者の存在など書籍への具体的な信頼を話すことができた。今後書籍の利用の啓発につながるのではないかと期待している。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①昨年度も感じたことだが、音楽療育は、まだ発展途上の学問であり、卒業後も多くの学びをしてほしいと深く念じている。到達度自己評価の「学びを深めたいと意欲を持つことができた」学生が「かなりそう思う」学生が6割もいたので心強いが、残りの16%の学生は「まあまあそうだと思う」と答えていたので、仕事についてからも学びを続けてほしいという思いを強く伝えなければいけないと感じた。</p> <p>②授業の質評価で「発表するなど学生が参加する機会が作られていた」の項目はすべての学生が「わりとそう思う」「かなりそう思う」と答え4.6と高いポイントをあげていたので授業の「内容的妥当性」は満たされていたと考えるが、「授業はもうすこし早く終わってほしい」という自由記述があり、時間をオーバーした記憶はないのだが、私の進め方で実際の悪い面があったのかもしれないと反省している。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>①「授業に参加するための30分以上の準備」は33%の学生が「1回か全くなし」と答えていた。自分の発表の日以外は予習をしなかったということを示しているが、自由記述の学習量の評価の記述で、「こどもの歌や楽器について調べた」「手作り楽器を作った」という記述があり、「手作り楽器」は、例年になく完成度の高いもので、それを使った音楽遊びの時間が非常に充実したものになった。コロナ禍という状況ではあったが、息を使って吹く楽器には、学生の発想の豊かさが感じられて、気持ち的にもコロナで落ち込むことなく、たくましく過ごしている保育科の学生の姿を垣間見ることができた。授業で学んだ障害の子どもに配慮した楽曲を必ず家の鍵盤楽器などで弾いたり歌ったりしてほしいという教員の願いは、在宅時間の多い状況を使い、うまく音楽の復習に充てているという回答があった。</p> <p>②様々な障害について、1年後期の「こども音楽療育概論」で講義はしているが、少し知識があいまいになっているようなので、曲の特性を伝えながら説明を十分に重ねるように心掛けた。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>障害のある子が在籍するクラスで「楽器や声を使って療育的音楽活動をする」という、障がいのある子もそうでない子も、共に楽しめる音楽活動について学んだ。「身体の動きを促し、コミュニケーションの扉を開く楽器活動」という音楽的な基礎テクニックを知り、そのことで子どもがどう変容してほしいかということを考える授業を展開をした。障害のある子どもとは、遠隔以前に対面のかかわりが欠かせないにもかかわらず、これからの「新しい生活様式」の中で、こうした子どもたちとの安全で有効なかわり方には、まだ十分な手立てが得られず、母親達の困り感に対する答えを模索中である。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	保育科
氏名	山路 麻佳

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
音楽の基礎	1	前期	選択	いいえ	49

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は免許・資格の取得に必要な科目であるため、幼稚園教諭免許、保育士資格いずれかの取得を望む学生が受講している。</p> <p>保育者に必要な音楽の知識を習得する講義であるが、これまでの音楽経験から既に音楽の知識をもっている学生と、これから初めて学ぶ学生とが混在しているため、単元ごとに小テストを行うことでそれぞれの学習状況を把握するとともに復習への意識を高めた。</p> <p>今期は遠隔授業であったため、楽器が置いていない環境で受講する学生もいたが、事前に鍵盤を作成させることで全員が理解を深められる環境を整え、また、講義で使用したパワーポイントでは、動画やアニメーションを適宜使用することによって、画面越しであっても関心を引きつけ理解しやすくなるよう配慮した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な評価は平均84.1点である。（最高95点、最低68点、S-13人、A-24人、B-10人、C-1人、D-0人）である。S,A評価の学生が77%であることから、目標はやや達成されたと考える。</p> <p>昨年度、学習量の評価では「予復習時間」「自発的学習」に取り組んでいない学生が約30%いたことから今後具体的な内容を示す等の改善を試みた結果、今年度は20%で減少がみられた。しかし、20%の中には今年度も理由として「何に取り組めばいいのか分からなかったから」というコメントもみられたため、今後も工夫して具体的な内容を示す必要であると考えます。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「専門科目」における「保育の表現技術」に位置付けられており、幼稚園教諭免許(選択)、保育士資格(選択)の科目でもある。そのため、学生の受講意欲も比較的高い。</p> <p>DPに関しても、「到達度自己評価」の「知識・理解」、「技能・表現」の両方において、約98%の学生が「まあまあそうだと思う」以上を回答しており、最終的な評価からもほとんどの学生が現段階での課題は達成できていると考える。</p> <p>以上のことにより、内容的妥当性に問題はないと考えられる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>今年度は遠隔と対面の時期が混ざっていたが、遠隔時には昨年度に作成したパワーポイントの画面に動画やアニメーションを加えた資料を基に、学生が理解しやすい資料の提示・説明を心がけた。また、対面になった際に机間指導や学生への声掛け、質問を受け付けるよう行った。</p> <p>「授業の質評価」では、1・2項では平均値4.7、3項では平均値4.8、5項では4.5と昨年度よりも高い回答がみられた。4項「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」において、昨年度平均値3.9という回答であったため改善していくよう試みた結果、今年度は平均値4.5という回答がみられた。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>学生の目標達成状況や評価状況から、概ね授業の目標は達成されたと考える。これまでの音楽経験から音楽的知識が全くない学生もよりスムーズに理解を深めるだけでなく、実践に活かしていくことができるよう授業展開を図っていきたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	保育科
氏名	山路 麻佳

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こどものためのピアノⅠ	1	前期	選択	いいえ	49

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は免許・資格の取得に必要な科目であるため、幼稚園教諭免許、保育士資格いずれかの取得を望む学生が受講している。</p> <p>本科目では個々のレベルに応じて、ピアノの技術を習得していくため、個人レッスンで進めていく科目である。そのため、非常勤助手の教員9名を含め10名の教員のもとグループをつくり進めている。また、担当教員のレッスン以外に授業内で中間発表の場をつくり、14回の授業のうちグループから1人ずつ科目担当者のレッスンを受けるようにすることで、学生の課題に対する意識を高め、人前で弾く機会を設けることで保育現場でピアノを弾くという意識をもって課題に望むようにしている。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された					やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は73.3点（S-8人、A-13人、B-3人、C-0人、D-25人）であった。本科目は保育において必要なピアノの技術を習得するための科目であるが、学生によってこれまでにピアノを習ったことがある等経験が異なることにより、学生によって目標の達成にばらつきが生じている。しかし、「到達度自己評価」の全般的評価の平均値は4.2と回答されており、DP5技能・表現における「自分が学ぼうとしている専門分野について、必要となる技術を身につけることができた」の平均値は4.6であったことから、成績にばらつきはあるものの保育者として必要な技術を身につけるために個々のペースで着実に取り組んでいると考える。</p> <p>以上のことにより、概ね本科目の教育目標がやや達成されたと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「専門科目」における「保育の表現技術」に位置付けられており、幼稚園教諭免許(選択)、保育士資格(選択)の科目でもある。そのため、学生の受講意欲も比較的高い。</p> <p>DPに関しても、「到達度自己評価」の「技能表現」において、約94%の学生が「わりにそうだと思う」以上を回答している。保育者として求められるピアノの力を身につけるために、本科目ではまず基礎を身につけることに重点をおいた内容を課題としている。授業の課題以外に取り組んだ学習としてピアノを弾く以外に「多くの音符を早く読むためにノートに書いたり弾いたりした」「リズム打ちをした」等の回答があり、個人レッスンの形態をとることにより、各学生の強化すると良い部分を伝えることができていると考える。それ以外にも「今後使えそうな幼稚園の曲を調べて弾いてみた」と記述がある等、授業で基本的な技術を身につけていきながら、保育の内容に結び付け意欲的に取り組む様子がみられた。</p> <p>以上のことにより、内容的妥当性に問題はないと考えられる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生のこれまでのピアノの経験の有無から、進み方や達成目標に個人差が出てしまう科目であるため、より細やかな教員間の情報共有、連携を図っていき、学生が自分なりの目標達成に向けて取り組めるようにしていきたい。</p> <p>また、一對一の個人レッスンという体制により、学生が担当教員に相談しやすく個々の状況に応じて課題を進められる反面、学生によっては直接発言しづらい環境でもあるため、教員間の情報共有・連携だけでなく、科目責任者の教員が全学生の進捗を把握し、学生とコミュニケーションをとれるようローテーションという体制をとって改善していきたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>学生の授業への取り組み状況から、概ね授業の目標は達成できたと考える。上記の課題を改善していきながら、後期の授業を展開できるよう心がけていきたい。</p>
-------------------------------	---



リフレクションカード 2021年度前期

学科	保育科
氏名	山路 麻佳

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こどものうたと伴奏法Ⅰ	2	前期	選択	いいえ	59

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は免許・資格の取得に必要な科目であるため、幼稚園教諭免許、保育士資格いずれかの取得を望む学生が受講している。</p> <p>本科目では個々のレベルに応じて、ピアノの技術を習得していくため、個人レッスンで進めていく科目である。</p> <p>そのため、非常勤助手の教員7名を含め8名の教員のもとグループをつくり展開している。グループで偏りがでないよう、入学前までの学生のこれまでの音楽経験や、一年次に開講している「こどものためのピアノ」での進捗をもとに、個々のレベルに合わせて均等にグループ分けをし、どの学生も公平にレッスンが受けられるよう配慮している。また、担当教員のレッスン以外に授業内で中間発表の場をつくり、14回の授業のうちグループから1人ずつ科目担当者のレッスンを受けるようにすることで、学生の課題に対する意識を高め、人前で弾く機会を設けることで保育現場でピアノを弾くという意識をもって課題に望むようにしている。</p> <p>また、実習や就職試験でピアノの実技が控えている学生には、必要に応じて授業内で相談に乗り対応していくようにしている。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は73.7点であった。（S-7人、A-16人、B-10人、C-1人、D-22人）本科目は保育において必要なピアノの技術を習得するための科目であるが、学生によってこれまでにピアノを習ったことがある等経験が異なることにより、学生によって目標の達成にばらつきが生じている。</p> <p>しかし、「到達度自己評価」の総括的評価の平均値は4.5と回答されており、DP5技能・表現における「自分が学ぼうとしている専門分野で、必要となる技術を身につけることができた」の平均値は4.5であったことから、成績にばらつきはあるものの保育者として必要な技術を身につけるために個々のペースで着実に取り組んでいると考える。</p> <p>以上のことにより、概ね本科目の教育目標がやや達成されたと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「専門科目」における「保育の表現技術」に位置付けられており、幼稚園教諭免許(選択)、保育士資格(選択)の科目でもある。そのため、学生の受講意欲も比較的高い。</p> <p>DPに関しては、「到達度自己評価」の「技能表現」において、全ての学生が「わりにそうだと思う」以上を回答しており、2年次での実習経験や就職試験の準備をしていく中で、より真剣に保育者として求められるピアノの力を身につけるために意欲的に取り組む様子がみられた。</p> <p>以上のことにより、内容的妥当性に問題は無いと考えられる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>一対一の個人レッスンという体制により、学生が担当教員に相談しやすく個々の状況に応じて課題を進められる反面、学生によっては直接発言しづらい環境でもあるため、教員間の情報共有・連携だけでなく、科目責任者の教員が全学生の進捗を把握し、学生とコミュニケーションをとれるよう心がけていきたい。</p> <p>以下、自由記述について出てきた内容について採り上げる。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 「仲のいい人と同じグループになりたい。先生がコロコロ変わるのが嫌」という意見があった。これについては、学生の進捗等から均等にグループ分けをしている。また、教員が変わることについては、本科目内で教員の変更はしておらず半期ごとの履修人数の変化や非常勤の人数が違うため教員変更をしている。</li><li>2. 「試験があるのもいいけれど、上手いなど、技術面だけで評価するのはどうかと思う」という意見については、日頃の課題への取り組み50点・発表50点の配分で行っており、技術面だけの評価ではなく各学生の取り組む姿勢が評価の半分ということをシラバスや授業初回オリエンテーションで説明している。</li><li>3. 「発表の時、みんなの前で弾くのが苦痛」という意見については、今後学生たちが保育現場に出た時に子どもたちの前で弾くようになることを考えて、人前で弾くことになれるよう行っている。</li></ol>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>学生の授業への取り組み状況から、概ね授業の目標は達成できたと考える。上記の課題を改善していきながら、後期の授業を展開できるよう心がけていきたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	保育科
氏名	篠木 賢一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こどもの運動あそび	1	前期	選択	いいえ	49

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は資格取得に必要であるため、幼稚園教諭免許、保育士資格のいずれかを希望する学生は全員受講している。対象の学生は1年生（前期）であり、子どもの運動あそびやその果たしている役割などは理解していない。今後資格を取得するために、子どもの発達や運動あそびの果たしている役割を理解することは大切であり、安全管理等の知識を得るためには重要な科目であると認識している。今年度はオンラインと対面で授業が行われたということもあり、オンラインで調べた運動あそびを対面で実践しながら、安全管理や運動指導を行えた。また、子どもの発達や運動あそびの発達を理解できるように、ディスカッションや過去の経験を振り返ることができる内容を取り入れた。また、パワーポイントだけではなくホワイトボードを使用し、実際の動きがわかるように丁寧に説明した。授業中の運動あそびだけではなく、検索した運動あそびもノートにまとめるように指導を行った。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均は94.2点（S-42人、A-6人、D-1人）である。ほとんどの学生がSまたはAを取得していることから、目標は達成されたと考えている。Sを取得した学生は、運動あそび中の安全管理方法や発達によるあそびの援助方法などを理解できていた。今年度は対面授業が行えたが、実際の補助方法や手具の操作方法など経験が不足していることがあるため、授業外等で引き続き指導していく必要があると考えられる。授業評価アンケートの「授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習」で、「公園に行って鉄棒の練習をした」などの意見が見られた。また「さらに発展させたあそびを調べた」という意見も見られた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「専門科目」における「保育の表現技術」に位置付けられており、幼稚園教諭免許（選択必修）、保育士資格（選択必修）の科目である。受講学生は資格取得を考えているため、受講の意欲は高い。成績評価をみてもほとんどの学生において現段階での課題は達成されており、内容的に妥当であったと考えられる。授業評価アンケートでは、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」4.7点、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」4.8点であった。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>オンライン授業では、一方的な講義にならないように、チャット等を利用し学生が発言できるような内容で授業を行った。それにより学生が考えて発言・発表する姿が見られたが、発言する学生に偏りが見られるため、すべての学生が発言しやすい環境づくりができるように検討していきたい。授業評価アンケートでは、「初めて知る知識や保育者の配慮をたくさん知れて、現場で活かそうと思った」「保育をする上で欠かせない大切な知識を知ることができました」という意見が見られた。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>学生の授業への取り組みや評価結果を見ると、授業の目的は達成されたと考えられる。様々なあそびを調べることで、運動あそびの種類やねらいの知識を得ることはできたが、対面授業が少なかったため実際の補助方法やあそびの展開等の経験が不足していると考えられる。今後、授業外でも引き続き指導を行い実習等で活かされるようにしていきたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	保育科
氏名	阿南 寿美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こどもの発達理解とあそび	2	前期	選択	いいえ	69

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は資格取得に必要な科目であることを学生も理解しているため、幼稚園教諭免許、保育士資格いずれかを希望する学生は全員受講している。受講学生は、1年次の授業及び実習での経験を通して、子どもの発達理解や個別の特性を理解しつつある段階であるが、2年次の実習では実際に子どもに“あそび”を実践するため、授業での体験は保育者としての視点を持ちつつ臨まなければならない。</p> <p>オムニバス科目であり、「あそび」担当教員は、リズム遊び、ルールのある遊び、わらべ歌など、実際に年齢別の子どもの姿を伝えながら、保育者の援助方法、遊びの展開についての教授を行い、実践理論担当教員は、体験した遊びの内容の振り返り、留意点を伝えた上で、実際の実践指導案の作成を指導した。また、0, 1, 2歳児の発達と遊びについては、学生の理解を深めるために別途講義を行った。そのことにより、学生が自分の体験をもとに子どもであれば、という視点を持ちながら振り返りを行う事ができたと考えられる。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された		やや達成された	達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な評価は86.3点（最高点100点、最低点37点、A-45人、B-14人、C-3人、D-2人、E-4人）である。本科目は、2クラスに分かれて行っているが、各クラスの得点の平均はAB-87.9点、CD-87.2点であり、両クラスとも同程度の習得度であることがわかる。</p> <p>本科目は、学生の主体性が特に求められる。同時に、保育者としてのスキルを高めていくための思考力や判断力も求められる。E評価の学生については、授業の振り返りレポートや子どもの発達の状況を踏まえて作成する指導計画の提出がないなど、基本的な取り組みが不足している。これらの資料は基本的に授業内で作成することができるように時間を設けているものの、個人によってそれに要する時間に差があるため、次年度以降は、そのような学生に対する支援を考えていきたい。学生は授業に向けて予習または復習を随時行っており、配布資料を活用するなど、授業が講義時間のみではなく各自の学習につながっていると考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「専門科目」における「保育の対象の理解に関する科目」に位置づけられており、幼稚園教諭免許状（必修）、保育士資格（選択）の科目である。受講生はいずれかの免許・資格を取得する目的を持っているため、比較的受講の意欲は高い。</p> <p>DPに関しても、子ども理解、保育者としての対応など指導案の作成を重ねる毎に深められており、紹介した遊びを基に他の遊びに興味を持ち調べたり、体験した遊びを対象の年齢に合わせて変化させたり、紹介された教材を作成するなど意欲も高くなっていった。</p> <p>また、随時ある実習においても本講座で作成した資料等を活かすなど、授業と実践が密接に関連していることがうかがえる。</p> <p>以上のことより、内容的妥当性には問題はないと考えられる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>本科目は、本学独自の科目として「保育の対象理解」に該当している。「到達度自己評価」に関しては、全員が「まあまあそうだと思う」以上を選択しており、学生の満足度は高いと考えられる。しかしながら、授業の質的評価において、(1)(3)に「少しそうでないと思う」を選択している学生が複数名いる。(1)に関しては、授業内で評価の観点も伝えているが、これからも意識していきたい。(3)については、科目の展開の仕方がオムニバスであるものの、それぞれが関連しあっているため、両方の授業を理解することが求められる。より、教員間の連携を深めていきたい。</p> <p>計画に際しては授業で体験した内容を実習で実践しており、特に6月の実習後は体験を振り返り、実際の子どもの様子を意識しながら立案されていることがうかがえる。しかしながら、計画作成に苦手意識を持つ学生も数名いた。遠隔授業を行う期間もあり、例年行っている学生同士の学びあいの時間を確保することができなかったことが悔やまれる。</p> <p>今回、記述の中に、あそび実践に関しての教員の指導についての指摘があったが、内容は「子どもたちに伝えるように自分達にも伝えてほしい」という主訴であった。本講座は、保育者を養成するための科目である。授業は学生が遊びのレポーターを増やすことを目的としているため、保育現場と全く同じように進めることは難しい。その意図を伝えきれていないことが要因であると考えられるため、改善はかりたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>学生の授業への取り組み状況及び評価結果を見ると、概ね授業の目標は達成できたと考えられる。</p> <p>担当科目教員同士で授業時の様子などの意見交換を行いながら、計画を進めることによって、学生の現状を把握しながら授業を展開できたのではないと思う。</p> <p>今回出てきた課題点を次年度改善できるようにしたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	保育科
氏名	池田 佐輪子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども文化	1	前期	必修	いいえ	49

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>・本科目は資格取得に必要な科目で、学生は保育現場での「あそび」の実践につながることを理解して受講していた。実際に保育科資料室等にあるこども文化財を使って遊び方を体験し、それを使ってお互いに発表し合うことで多面的視点をもって保育教材の必要性を理解し、自分なりの教材作成へと進める計画であった。</p> <p>・子ども文化財が幼い子どもの発達に与える影響について講義で伝え、子どもの発達を促しながら「あそび」を楽しむことができる保育教材を作成するとともに、それを用いて保育現場で実践できるように留意しながら授業を行った。</p> <p>・一部遠隔授業となったために、担当教員が子ども文化財を用いて演じて見せ、それを参考に「自分の教材制作、遊び方の工夫」ができるように心がけて授業を行った。</p> <p>・最終回の授業では、実習や保育現場での実践力が身につくように、状況に配慮しながら対面で保育教材の発表会を行い、学生同士の作品を見ていろいろな視点に気づけるように意図しながら講評をしていった。</p> <p>・一部遠隔授業のために学生の交流が少なかったことを鑑み、対面での発表会では学生同士の交流ができるように心がけながら、お互いに演じ方についての意見交換を促していった。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された			達成された		やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>・様々な子ども文化財が子どもに与える影響について解説し、現場で活かせる文化財の作成を促したことで、ほとんどの学生はその意図を理解したうえで自分なりの保育教材を作るとともに、他者の前で発表することができていた。</p> <p>・特に「認定絵本土」の取得を目指す学生は、絵本等に関する内容について積極的に学ぼうとする態度が見られた。</p> <p>・一部遠隔授業だったために作成途中の作品をお互いに見せ合う機会が少なく、それぞれの良いところを見つけて刺激し合うことが難しかった。</p> <p>・トータルの成績評価は、88.7点（±3.9）。クラスごとではAクラス87.2点（±4.3）、Bクラス88.1点（±3.2）、Cクラス89.6点（±4.3）、Dクラス90.0点（±3.6）でクラスごとのばらつきはほとんど見られなかった。</p> <p>・ほとんどの学生が期日に遅れることなく、インターネットや本等を参考にして丁寧に保育教材を仕上げ、発表することができており、前向きに授業に向き合うことができていた。</p> <p>・対面授業での発表会では、保育教材を用いてみんなの前で演じ、評価点、改善点などを話し合うことで、自信をつけ、新たな課題を見つけて次に活かそうとする意欲が感じられた。</p> <p>・一部遠隔授業になったために、他者の制作の様子を見たり、人前で発表したりする機会が少なくなり、制作や発表に不慣れな学生にとっ</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・本科目は「専門教育科目」の「保育内容の理解と方法」の科目に位置付けられており、必修の科目である。受講生のほとんどは保育現場に就職することを目指しており、概ね主体的、意欲的に授業参加ができていた。</li><li>・DPに関しても、子ども文化財の意義を理解したうえで、子どもの年齢や季節、行事などに配慮しながら意欲的に制作、そして発表を心掛けており、一部遠隔授業だったために直接発表の機会が少なくなったが、そのなかでも他者の作品や発表の様子を見て刺激を受け、学びを深める学生が多かった。</li><li>・以上のことより、内容的妥当性には問題がないと思われる。</li></ul>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方法を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・課題の作成や発表が苦手な学生が数名いたが、対面授業の中で友だちに助けられながら政策や発表準備を進めることができていた。モチベーションを担保しながら子ども文化財の作成、発表を行うために、参考になる保育教材の紹介や教員によるデモンストレーションなどを適宜取り入れ、学生同士の協力体制も意識的に作りながら、できるだけ対面でやり取りを重視して指導することを心掛けたい。</li><li>・また、遠隔授業の中で実物の紹介が難しい場合は、インターネット等を効果的に利用する方法も、必要に応じて具体的に提示していく。</li><li>・人前での発表に慣れるように、無理のない範囲で発表の機会を増やしていく。</li></ul>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・一部に課題の作成や人前での発表が苦手な学生が見られたが、ほとんどの学生は実習や現場で活用できる子ども文化財（保育教材）を作成し、授業の中で設定保育形式で発表することで、準備を整えて実習に臨む態勢を作ることができたと考えられることから、概ね授業の目的は達成できたと思われる。ただ、苦手な学生に対しては、遠隔授業でのサポートが難しい面があった。今後は早期に苦手な学生を把握して、現場に出た時に必要であることを理解させ、モチベーションを担保しながら授業ができるように心がけたい。加えて、自分から主体的に教材作成に取り組む意欲が育つように留意しながら、ある程度の具体例を示すなど細やかな支援も心掛けたいと考えている。</li><li>・次年度には、さらに子どもの年齢や季節、行事などを考慮した課題の提示や設定保育形式での発表を、対面授業の中で学生同士の交流を図りながら進められるように工夫していきたい。</li><li>・他の演習科目での制作課題と内容が重複しないように情報共有しながら、課題を提示していく。</li></ul>
-------------------------------	---